

こんにちは

日本共産党

# 横浜市議団です

日本共産党  
横浜市会議員団  
2007. 8. 8号  
横浜市中区港町1-1 (市庁舎内)  
電話 671-3032 FAX 641-7100  
E-mail: info@jcp-yokohama.com  
http://www.jcp-yokohama.com/

敬老パス  
市民  
アンケート

## 敬老パスは役立っている いま程度の市費負担はOK

「敬老特別乗車証制度のあり方検討会」は7月、70歳以上と20歳以上70歳未満の市民各2550人を対象に、市民アンケートを行いました(回収率は70歳以上62%、70歳未満40%)。

その結果から、敬老パスをもっている高齢者は、週に3～4日(35.3%)あるいは1～2日(33.1%)敬老パスを使って、出かけ、日常の買い物(59.8%)、通院(59.7%)、趣味やレジャー(34.6%)、家族や友人に会いに(30.5%)行っています。

敬老パスによってバスや地下鉄の利用回数が増えている人(かなり26.2%、やや32.3%)が半数以上で、敬老パスが公共交通の利用を促していることがわかります。

敬老パスをもっていない人は、自家用車を利用(37.9%)しているか、身体的な事情で利用できない(37.3%)ためですが、自己負担があるために交付を受けないという人(12.9%)もいます。

### 税金投入も容認

多くの方が敬老パスは役立っていると評価しており、70歳以上の6割、70歳未満でも半数が、現在の市費負担を容認しています。

### 市民アンケート結果より

◎敬老パスはどのようなことに役立っていると思いますか (複数回答)		
	70歳以上	20～69歳
交通費負担の軽減	67.0%	68.8%
社会参加の促進・生きがいづくり	41.8%	52.8%
高齢者の交通安全	41.4%	51.0%
高齢者の健康増進・介護予防	34.9%	45.9%
◎敬老パスの財政負担(市費負担額)についてどう思いますか		
	70歳以上	20～69歳
現在よりも財政負担を軽減すべきと思う	14.5%	31.6%
この程度の財政負担はやむを得ないと思う	60.2%	49.1%
もっと財政負担を増やして、さらに制度の充実を図るべきと思う	6.6%	9.5%

## 市民立ち上がる ～「あり方検討会」予定変更～

敬老パスの見直しに疑問をもった市民たちが、「あり方検討会」の傍聴や署名活動を行うなど、立ち上がっています。「市営公共バス問題の存続発展を考える市民連絡会」など6団体は、「敬老パス負担増を考える連絡会」を立ち上げ、「つどい」を開いたり、敬老パス負担増反対の署名活動を行っています。

これらの運動の成果か、「あり方検討会」では当初8月

に予定されていた中間取りまとめが9月に、最終取りまとめが10月から11月に延期されました。

さらに、予定になかった市民意見の募集が9～10月に実施されることになりました。

「あり方検討会」の傍聴枠も拡大されました。5月の第1回検討会には傍聴希望者が定員(9名)オーバー、6月の第2回検討会でも定員(15名)に対して多くの希望者が傍聴を断られましたが、8月の第3回検討会では傍聴定員を24名に増やすとともに、あらかじめ傍聴の申し込みを受け付けるなど、改善がみられました。

